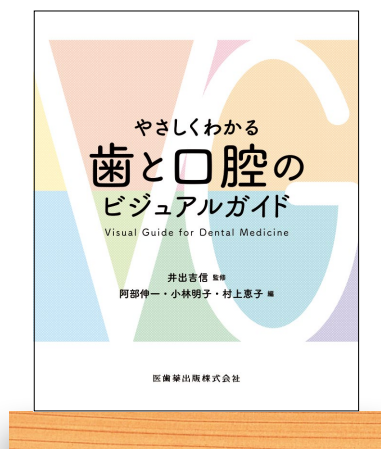


基礎知識を日常の臨床に  
リンクさせよう！



やさしくわかる  
**歯と口腔のビジュアルガイド**  
井出吉信 監修  
AB判/192頁 定価 5,500円+税  
医歯薬出版 (2019年11月)

有限会社ハグクリエイション代表  
評・柏井伸子 (歯科衛生士)



私は、書籍を読む際には、まず巻頭言から目を通すことにしており、そこから著者や編者の「思い」をうかがうことができます。本書の「はじめに」の2段落目に、「チーム医療のための知識共有の学習書を目指した」という記述があります。たしかに本書の執筆陣は、歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士で構成されており、解剖学やインスツルメンテーションのエキスパートというバックグラウンドを活かし、全体にわたってイラスト・組織像・病理標本を多用して、臨床における歯科処置において押さえておかなければならない事項が詳説されています。

すでに超高齢社会に突入したわが国においては、成長期・壮年期・老年期に生じる口腔領域

の変化をたどり、患者さんへの対応をカスタマイズすることが求められています。令和元年10月1日の診療報酬改定において点数が加算された歯科訪問診療に関連して、顎関節の加齢に伴う変化・摂食嚥下のしくみ・VF検査について理解し対応すべきであることや、歯列矯正中の患者さんの粘膜を観察することで口腔がんを早期に発見できることなどについて、多くの図表により理解を深めることができます。

スケーリングやルートプレーニングに関連する内容として、歯周病の進行に伴う上皮性および結合組織性付着についての組織像・セメント質の特性・歯の形態を三次元的にイメージできるような解説をもとに、適切なインスツルメントを選択し、垂直および水平ストロークを活用するための具体例がステップバイステップで紹介されており、インスツルメント選択の幅が広がり楽しくなりました。口腔にかかわる解剖や組織の特性を把握し、患者さんも施術者も快適に処置が行える工夫につなげたいと思います。

臨床では各種診査を行い、セルフケアの指導内容を構築しますが、p.35においては歯周組織とプローブ・歯ブラシの毛先の関係について解説されており、オーバブラッシングによって引き起こされる歯肉退縮やくさび状欠損を生じさせないような指導に活かすことができます。口腔内を観察する際には歯や歯周組織に加え、ステロイドなどの全身疾患に伴う薬剤の影響も考慮しつつ、舌や歯肉などの口腔粘膜のチェックを実施し、摂食・咀嚼・嚥下の機能維持による身体的・精神的な健康について患者さんとともに考えるためには必携書であると確信しました。